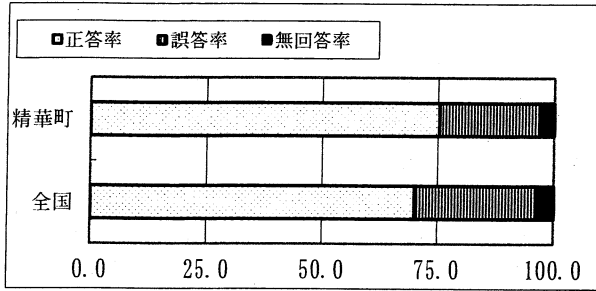


全国学力学習状況調査の結果

(平成27年4月21日実施)

小学校国語科

A問題



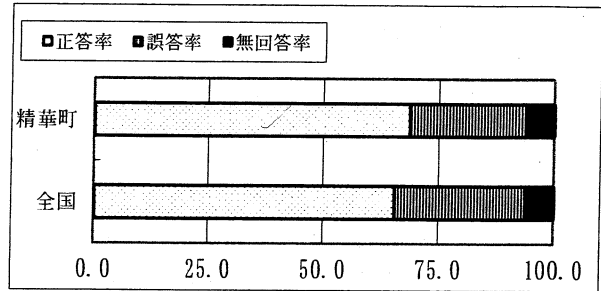
■国の状況

正答率は70.0%であり、相当数の児童が今回出題された学習内容を概ね理解していると言えます。

■精華町の状況

全国との関係において、正答率が5%以上高く、良好な結果であると言えます。

B問題



■国の状況

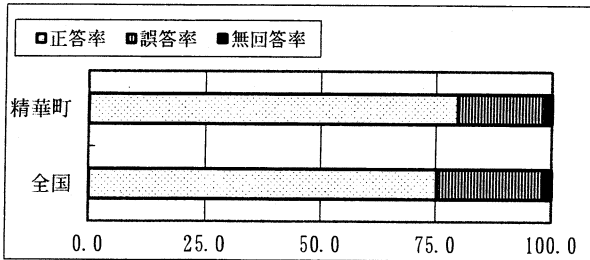
正答率が65.4%であり、昨年度より約10%上昇し、「活用の力」において、向上が見られます。

■精華町の状況

正答率は全国を上回っており、学習成果が見られます。

小学校算数科

A問題



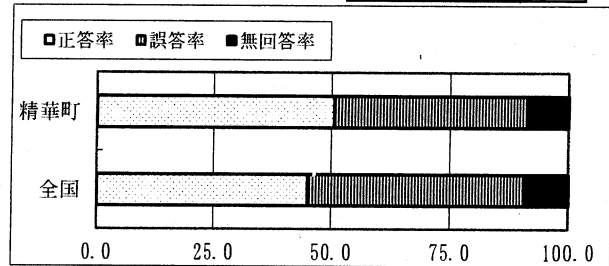
■国の状況

正答率は約77%であり、相当数の児童が今回出題された学習内容を概ね理解しています。

■精華町の状況

全国との関係において、良好な結果であり、無回答率が極めて低い状況にあります。

B問題



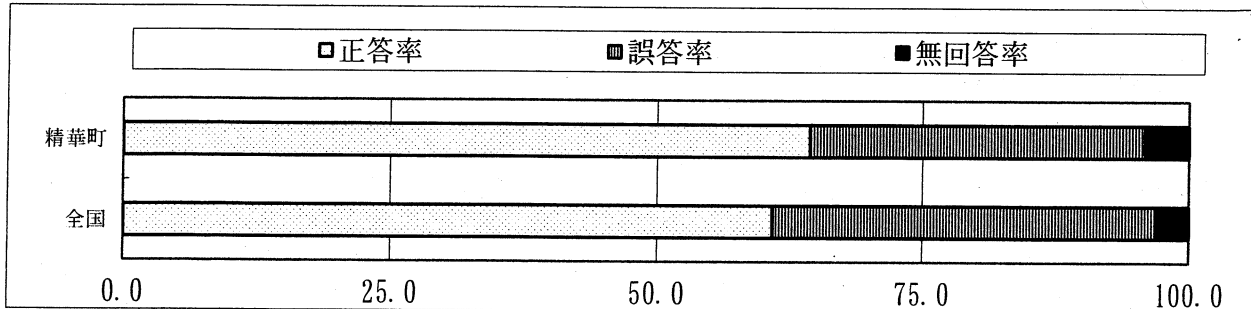
■国の状況

正答率は約58%であり、知識や技能を活用する力に課題があります。

■精華町の状況

全国とほぼ同じ傾向にあるが、全体的には上っており、無回答率も低い状況にあります。

小学校理科



■国の状況

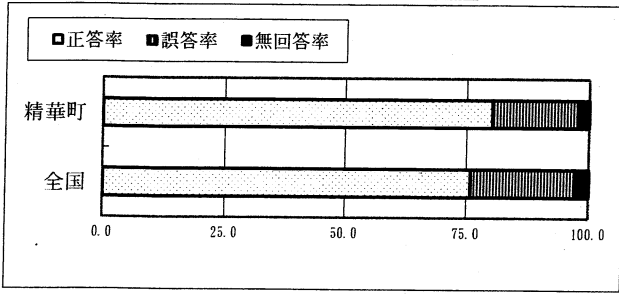
正答率は約60%であり、「知識」や「活用」に関する問題において、概ね定着していると言えます。

■精華町の状況

全国より若干高い傾向にありますが、無回答率は全国より高い状況にあります。

中学校国語科

A問題



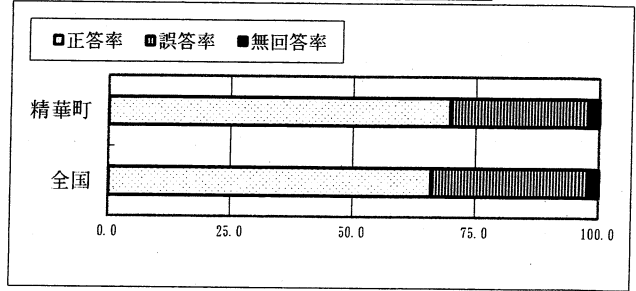
■国の状況

正答率は75.8%であり、多くの生徒が基礎的基本的な内容が習得できていると言えます。

■精華町の状況

正答率が80%を超える高い値であり、良好な結果であると言えます。

B問題



■国の状況

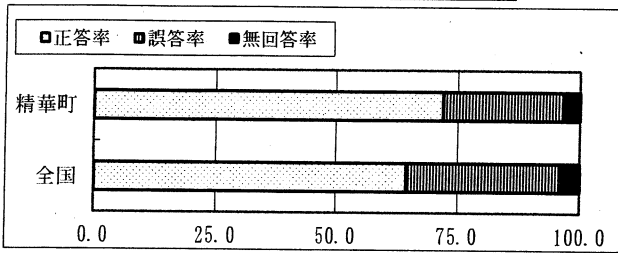
65%を超える正答率であり、概ね学習内容が理解できていると思われます。

■精華町の状況

正答率は全国を上回っているおり、学習成果が見られます。

中学校数学科

A問題



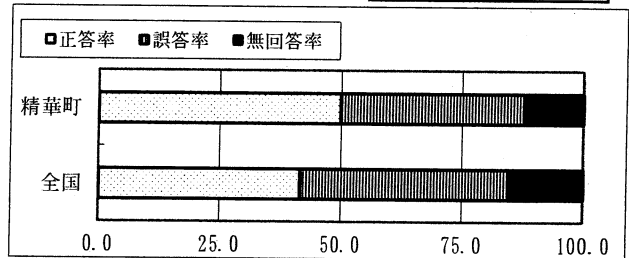
■国の状況

正答率は約64%であり、今回出題された学習内容は概ね理解できています。

■精華町の状況

全国との関係において、8%程度高く、良好な結果であると言えます。

B問題



■国の状況

正答率は約42%であり、やや課題が残ります。無回答率についても15%を超える状況です。

■精華町の状況

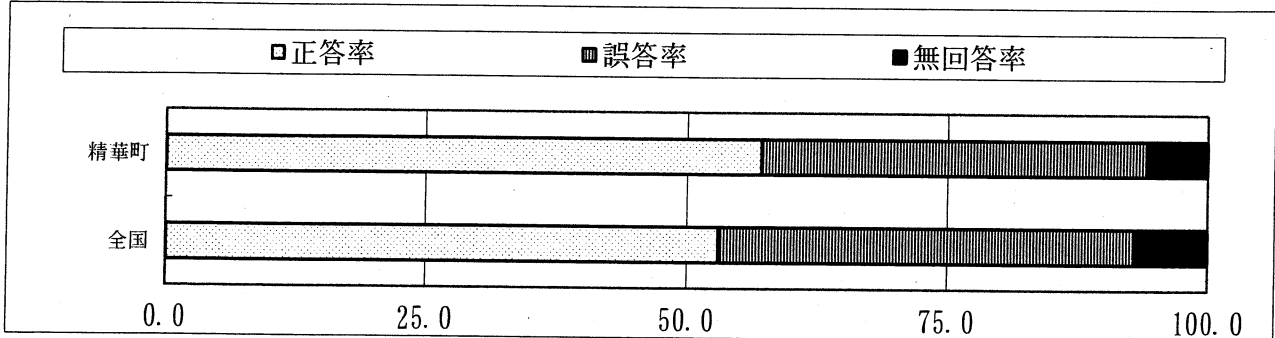
正答率は全国より高い値を示していますが、無回答率の課題は残ります。

中学校理科

正答率

誤答率

無回答率



■国の状況

正答率は約53%であり、若干の課題が残ります。また、無回答率も約7%に上ります。

■精華町の状況

全国より4%以上上回る結果となりましたが、無回答率等の課題は残ります。

全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙結果の結果

【全体の傾向】

カテゴリー1 《学校生活について》

精華町の小学6年生及び中学3年生の80%以上が「学校に行くのが楽しいと思いますか」の質問に対し、肯定的に回答しています。また、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という質問では、小学6年生で88.5%、中学3年生で81.2%の児童生徒が大きな達成感を味わっていることが分かります。

カテゴリー2 《学習状況について》

国語・算数(数学)・理科の授業に関する質問において、精華町の小学6年生や中学3年生は、「積極的に授業に参加して発表したり、説明したり、うまく伝えるように工夫しますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した割合が全国と比較して高いことが分かります。

カテゴリー3 《自分自身の事について》

「人の役に立ちたいと思いますか」という質問では小学6年生、中学3年生とも、昨年度と同様で90%以上が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答しています。

カテゴリー4 《規範意識について》

精華町の小学6年生・中学3年生の約90%が「学校の規則を守っている」と回答しています。また、「人の気持ちに分かる人間になりたいと思いますか」の質問においては、90%を超える児童生徒が肯定的な回答をしています。「いじめ」に関する質問においてもほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。

カテゴリー5 《体験的な活動について》

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の質問においては、小学6年生は全国より高い割合を示していますが、中学3年生は、全国と同等程度の割合になっています。また、地域の行事への参加に関する質問では、小学6年生は積極的に参加していることが分かります。

カテゴリー6 《家庭生活について》

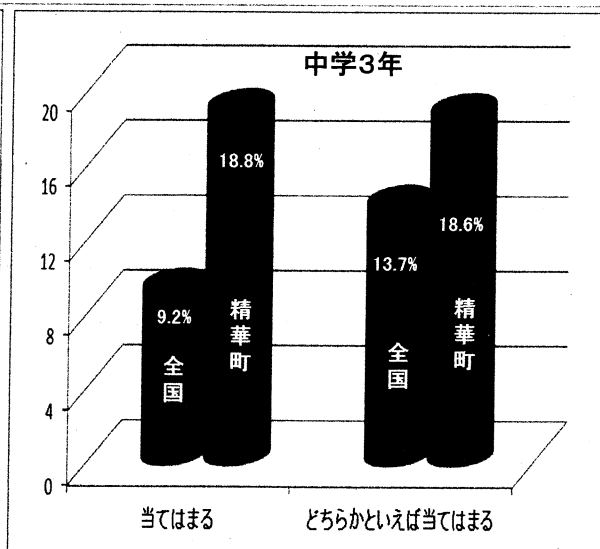
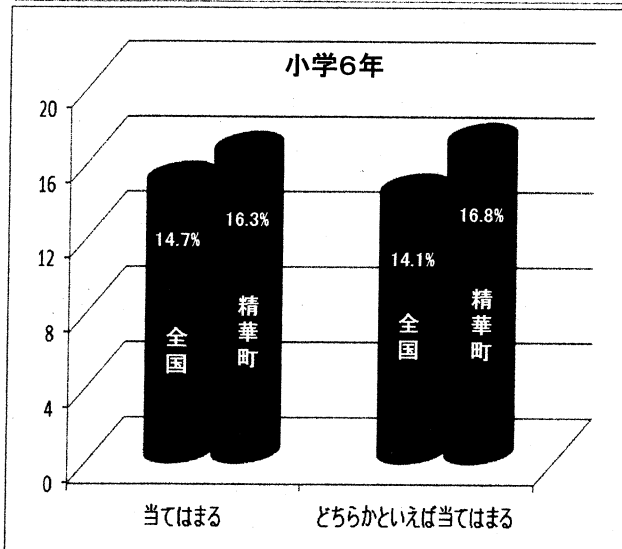
「普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、コンピュータゲーム(携帯電話やスマートフォンによるゲームも含む)をしますか」の質問では、概ね小中学校とも全国並みですが、中学3年生においては、3時間以上ゲームをしている割合が全体の16.8%を示しています。家庭において、携帯電話やスマートフォンの使用ルールを決めることは大切であると考えられます。

精華町の小学生と中学生の大まかな状況(詳細はHPをご覧ください)

特徴的な状況として

(質問紙調査の結果より)

【質問】 将来、理科や科学技術に関係する仕事につきたいと思いますか。



児童生徒に対する学習状況調査(質問紙調査)の中で「将来、理科や科学技術に関係する仕事につきたいと思いますか」の質問について、全国を上回る顕著な結果が見られました。特に中学3年生において、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国と比較して大きく上回る値を示しております。しかし、その半面「理科の勉強が好きですか」の質問では、概ね全国と同等程度でした。特に理科の授業においては、実験や観察などを積極的に取り入れながら、児童生徒の知的好奇心を揺さぶる興味深い授業を行うことが大切であると考えております。